

第139回 1st Moodle Research Conference に参加して

- 会場: Convention Center Creta Maris, Greece
- Moodle Moot ではなく、Research Conference
- 参加者 約100名(22ヶ国)、投稿件数48のうち採択は、22本の論文(オンライン)と7件のポスター
- 基調講演は、お馴染みの Martin Dougiamasさん
- 一般講演は多種多様。 目についたもの:
 - ELIS (カリキュラム全体の面倒を見る機能)
 - 計算機プログラミングの授業に役立つプラグイン
- 喜多はpdf2submissionをリリースし、ポスター発表

Martin Dougiamasさんの基調講演

- タイトル: Back to the classroom
- Moodleが目指していること、意図していること
<http://docs.moodle.org/23/en/Pedagogy>
- Moodleプラグインの保守
 - Moodle 2.3 では自動的に更新すべきプラグインがあることを教えてくれる
 - Moodle 2.4 ではMoodle画面上で更新作業が可能になる予定
- Moodle 1.9 からMoodle 2.0 へバージョンアップしたときのような混乱は、今後は生じないようにしたい



喜多のポスター

